

NE308

JIS Z3221 ES308-16

18%Cr-8%Ni系オーステナイト溶着金属を作る溶接棒で、アークの安定性、ビード外観共に良好で、特にスパッタは極めて少なくスラグの剥離性は良く、非常に作業性の良い全姿勢用溶接棒です。オーステナイト系ステンレス鋼溶接棒では最も安価である為、各種化学工業、食品工業、その他広範囲にご使用願えるものです。

溶接熱によって硬化しやすい鋼材とか、13Crや18Cr鋼のように溶接に困難を伴うものあるいは、ハードフェイシングを行う際の下盛の溶接などに用いることも可能な溶接棒です。

○ 用途

一般的なオーステナイト系ステンレス鋼 18%Cr-8%Ni 鋼(SUS304)などの溶接

○ 使用上の注意

- ① アークの長さはできるだけ短く保ち、また開先面の油、汚れ、ゴミなどは取り除いてください。
- ② 溶接棒が吸湿している場合には、150~200℃で約60分乾燥してください。

○ 溶着金属の機械的性質の一例

引張強さ MPa	伸び (%)
582	43

○ 溶着金属の化学成分の一例 (%)

C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr
0.05	0.41	1.52	0.025	0.003	9.26	19.81

○ 製造寸法及び適正電流(AC又はDC+)

棒径(mm)	2.0	2.6	3.2
棒長(mm)	250	300	350
下向、水平	50~75	75~95	85~120
立向、上向	45~65	70~90	80~115